

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第7部門第3区分  
 【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-507616(P2005-507616A)

【公表日】平成17年3月17日(2005.3.17)

【年通号数】公開・登録公報2005-011

【出願番号】特願2003-541263(P2003-541263)

【国際特許分類】

H 04 N 5/44 (2006.01)

H 04 B 1/16 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/44 Z

H 04 B 1/16 A

【手続補正書】

【提出日】平成17年10月12日(2005.10.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ビデオ信号を受信する装置であって、

第1の復号化回路と、

第2の復号化回路と、

ビデオエンコーダと、

前記第1の復号化回路又は前記第2の復号化回路を、前記ビデオエンコーダに選択的に接続する選択手段と、

前記第1の復号化回路及び前記第2の復号化回路のうち少なくとも1つの状態を検出し、状態キューを生成する検出手段と、

前記状態キューに応じて前記選択手段を制御する制御手段と、

を含む装置。

【請求項2】

前記制御手段に、番組キューを送信可能なユーザインターフェースを含む請求項1記載の装置。

【請求項3】

前記第1の復号化回路及び前記第2の復号化回路は、それぞれ、デジタルビデオストリームを生成可能である請求項1又は2記載の装置。

【請求項4】

前記第1の復号化回路及び前記第2の復号化回路は、それぞれ、ビデオデコーダを含む請求項1又は2記載の装置。

【請求項5】

前記第1の復号化回路及び前記第2の復号化回路のうち少なくとも1つは、デスクランプを含む請求項1乃至4のうちいずれか一項記載の装置。

【請求項6】

ビデオ信号を受信する装置を制御する方法であって、

前記装置は、

第1の復号化回路と、

第2の復号化回路と、  
ビデオエンコーダと、  
前記第1の復号化回路又は前記第2の復号化回路を、前記ビデオエンコーダに選択的に接続する選択手段と、  
を含み、前記方法は、  
前記第1の復号化回路を前記ビデオエンコーダに接続するよう前記選択手段に命令する段階と、  
番組キューを含む信号を受信する段階と、  
前記番組キューにより指定される番組を受信するよう前記第2の復号化回路に命令する段階と、  
前記第2の復号化回路がビデオストリームを生成しない限り、前記第1の復号化回路を前記ビデオエンコーダに接続する前記選択手段への命令を維持する段階と、  
前記第2の復号化回路がビデオストリームを生成すると、前記第2の復号化回路を前記ビデオエンコーダに接続するよう前記選択手段を制御する段階と、  
を含む方法。

#### 【請求項7】

請求項1に記載の装置を制御する方法であって、  
前記第1の復号化回路を前記ビデオエンコーダに接続するよう前記選択手段に命令する段階と、  
番組キューを含む信号を受信する段階と、  
前記番組キューにより指定される番組を受信するよう前記第2の復号化回路に命令する段階と、  
前記検出手段の前記状態キューが、前記第2の復号化回路はビデオストリームを生成していないことを示す限り、前記第1の復号化回路を前記ビデオエンコーダに接続する前記選択手段への命令を維持する段階と、  
前記検出手段の前記状態キューが、前記第2の復号化回路はビデオストリームを生成していることを示すと、前記第2の復号化回路を前記ビデオエンコーダに接続するよう前記選択手段を制御する段階と、  
を含む方法。

#### 【請求項8】

請求項2に記載の装置を制御する方法であって、  
前記第1の復号化回路を前記ビデオエンコーダに接続するよう前記選択手段に命令する段階と、  
前記ユーザインターフェースから前記番組キューを受信する段階と、  
前記番組キューにより指定される番組を受信するよう前記第2の復号化回路に命令する段階と、  
前記検出手段の前記状態キューが、前記第2の復号化回路はビデオストリームを生成していないことを示す限り、前記第1の復号化回路を前記ビデオエンコーダに接続する前記選択手段への命令を維持する段階と、  
前記検出手段の前記状態キューが、前記第2の復号化回路はビデオストリームを生成していることを示すと、前記第2の復号化回路を前記ビデオエンコーダに接続するよう前記選択手段を制御する段階と、  
を含む方法。